

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.4.2 第 169 回国会第 14 号

4 月 2 日、第 14 回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・額賀財務大臣、渡辺国務大臣（金融担当大臣）、森山財務副大臣、平井国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

越 智 隆 雄君（自民）

- ・国有財産の有効活用の観点から、財務省庁舎の建替えが検討されていると思うが、進捗状況はどうなっているか。
- ・消費税を引き上げるとした場合の目的は何か。また、税収全体として減収になるリスクについてどう考えるか。
- ・高額納税者公示制度に代わる納税行為を評価する新たな納税顕彰制度について検討をしているか。

土 井 真 樹君（自民）

- ・揮発油税等の暫定税率が失効したことによる国・地方の財政運営及び国民生活への影響には、具体的にどのようなものがあるのか。
- ・4 月から施行された内部統制報告制度について、企業のコスト負担、内容のわかりにくさ、中小企業の対応の遅れ等の状況があるが、金融担当大臣の見解はどうか。
- ・内部統制報告制度の円滑な実施のために、今後どのようなフォローアップを考えているか。

古 本 伸一郎君（民主）

- ・3 月 27 日の内閣総理大臣記者会見に従えば、参議院で審議中の道路財源特例法改正案の適用期限を平成 20 年度限りとするように修正すべきではないか。
- ・道路特定財源に係る暫定税率の期限切れにより損害を

受けているガソリンの小売業者に対し、手持ち品在庫に関する税還付を行うことは法的に可能か。

- ・ガソリンの小売業者に対し上記税還付を行うという対応策について財務大臣の考えを伺いたい。
- ・暫定税率延長法案が成立した場合、手持ち品課税を行うことはあるのか。

階 猛君（民主）

- ・道路特定財源を一般財源化するのであれば、暫定税率は廃止すべきではないか。
- ・生損保の保険金不払問題について、生保における支払漏れ保険金の追加支払の進捗状況を伺いたい。
- ・「ねんきん特別便専用ダイヤル」の応答率を上昇させるために、もっと人員を確保すべきではないか。
- ・年金受給のために裁定請求手続が必要とされる理由を伺いたい。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・福田総理の道路特定財源等に関する提案は、全額一般財源化するという理解で良いか。
- ・道路財源特例法案及び暫定税率を維持する税制関連法案を再議決により成立させることは、総理の提案と矛盾することになるのではないか。